

株主メモ

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
 定時株主総会 毎年3月
 基準日
 期末配当金 毎年12月31日
 中間配当金 毎年6月30日
 その他必要がある場合は、取締役会の決議により、あらかじめ公告いたします。

株主名簿管理人
 特別口座の口座管理機関
 三菱UFJ信託銀行株式会社
 (連絡先) 東京都府中市日鋼町1-1
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-232-711 (通話料無料)
 (郵送先) 〒137-8081
 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

単元株式数 100株
 公告の方法 電子公告により行いますが、事故その他やむを得ない事由によりできない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
 (公告掲載URL)
https://www.tok.co.jp/company/public_notice.html

上場取引所 東京証券取引所 プライム市場
 証券コード 4186

ご注意

- 住所変更、単元未満株式(100株未満の株式)の買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、当社定款の規定により、支払開始日より満3年を経過いたしますとお受け取りいただけませんので、お早めに最寄りの三菱UFJ信託銀行本支店でお受け取りください。

株式に関するお手続きについて

| お手続き、ご照会等の内容 | お問い合わせ先 | |
|---|------------------|----------------|
| | 証券会社等の口座に記録された株式 | 特別口座に記録された株式 |
| ■単元未満株式の買取・買増請求 ■住所・氏名等のご変更 ■配当金の受領方法の指定(注) ■マイナンバーに関するお届け・ご照会 | 口座を開設されている証券会社等 | 左記の特別口座の口座管理機関 |
| ■特別口座から一般口座への振替請求 | | |
| ■支払期間経過後の配当金に関するご照会 ■郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ■株式事務に関する一般的なお問い合わせ | 左記の株主名簿管理人 | |

(注) 特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として「株式数比例配分方式」はご選択いただけません。

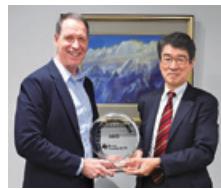


IRメール配信を行っています。ぜひご登録ください。

<https://rims.tr.mufig.jp/?sn=4186> ▶▶▶

「Supplier Excellence Award」を受賞

世界的な半導体メーカーであるテキサス・インスツルメンツ社(米国)より、同社の求める高い基準を満たす優れた製品・サービスを提供したサプライヤー22社が受賞し、その内の1社に選ばれました。



「JPX日経インデックス400」の構成銘柄に選定

資本の効率的活用や投資者を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸要件を満たした、「投資者にとって投資魅力の高い会社」で構成されるJPX日経インデックス400の構成銘柄に選定されました。



豊かな未来、社会の期待に化学で応える
 “The e-Material Global Company™”

tok 東京応化工業株式会社

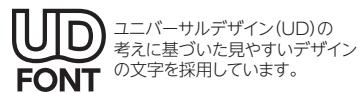
第94期 中間報告書

2023年1月1日～2023年6月30日

0.000000001mから、
技術は深化する。

tok 東京応化工業株式会社

〒211-0012 神奈川県川崎市中原区中丸子150番地
 電話 044-435-3000 (代表)





株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループの第94期第2四半期連結累計期間(2023年1月1日から2023年6月30日まで)の業績および今後の取り組みにつきましてご報告申し上げます。

代表取締役 取締役社長 **種市 順昭**

Q1 当上半期における市場環境および業績について教えてください。

当上半期における世界経済は、米中貿易摩擦の長期化に加え、ロシア・ウクライナ情勢の影響が続いたものの、総じて緩やかな回復基調となりました。

このような情勢下、当社グループは2024年度を最終年度とする3か年の中期計画「tok中期計画2024」に掲げた全社戦略の推進に総力をあげて取り組んでまいりました。

当上半期においては、車載用半導体は底堅く推移したものの、パソコン、スマートフォン等の需要は落ち込みました。当社グループは、半導体前工程用フォトレジストや半導体後工程関連材料でシェア向上を図ることができましたが、半導体需要の急速な減速による影響を想定以上

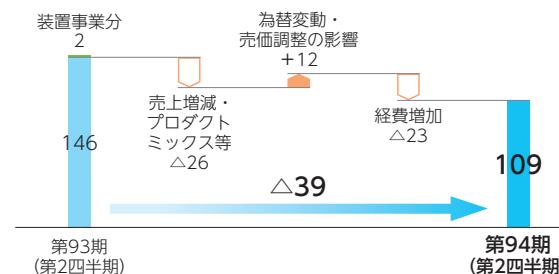
に強く受けて、エレクトロニクス機能材料や高純度化学薬品の販売が減少しました。この結果、売上高は前年同期に比べ70億円減少し776億円(前年同期比8.3%減)となりました。

利益面においては、為替レートが大幅な円安傾向で推移したものの、売上高の減少に加え、原材料価格の高騰や将来需要を見越した人員増強などにより人件費を含む経費が増加したことにより、営業利益は前年同期に比べ39億円減少し109億円(同26.4%減)、経常利益も前年同期に比べ35億円減少し118億円(同23.1%減)となりました。また、AIメカテック株式会社への装置事業の譲渡に伴う事業再編費用の計上により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ43億円減少し53億円(同44.9%減)となりました。

財務ハイライト

営業利益の増減内訳

(単位:億円)



中間配当金の推移

(単位:円)



Q2 配当金については、いかがですか?

当期の中間配当金については、DOE(連結純資産配当率)4.0%を目標とする配当方針に基づき、前期中間配当金78円から4円増配し、1株当たり82円とさせていただきます。

Q3 通期の見通しについて教えてください。

下半期においては、生成AIやスマートフォンの最新機種投入などにより、まず半導体後工程関連材料の売上回復が見込まれるものの、半導体前工程用フォトレジストの本格的な回復時期は年後半を想定しています。このよ

うに半導体市場の一部回復は予想されますが、当上半期の半導体需要の減速影響を勘案して、通期の業績予想を下方修正しました。

この結果、通期の売上高は前年に比べ114億円減収の1,640億円(前年比6.5%減)、営業利益は売上高の減少に加え、引き続き経費増加の影響を受けて前年に比べ66億円減益の235億円(同22.1%減)、経常利益も前年に比べ59億円減益の250億円(同19.3%減)を予想しています。また、前述の事業再編費用の計上により、親会社株主に帰属する当期純利益は前年に比べ61億円減益の135億円(同31.5%減)を予想しています。

当社グループにとって厳しい市場環境ではありますが、株主の皆様のご期待に応えられるようグループ一丸となって邁進してまいりますので、株主の皆様におかれましては、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

▶ 当社のウェブサイトでも2023年12月期第2四半期決算説明会の模様をご覧ください。

▶ [当社ウェブサイト](#)

▶ [株主・投資家情報](#)

▶ [IRライブラリ](#)

<https://www.tok.co.jp/ir/library/2023>



社会的インパクトの創出に貢献

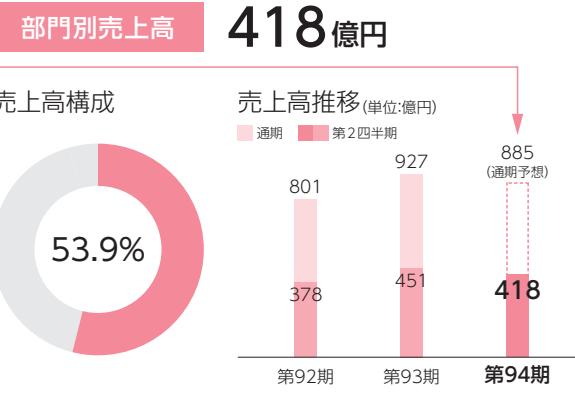
当社グループは、半導体産業のお客様とともに成長していく分野として「情報端末」「クラウド」「センシング&IoT」「グリーンエネルギー」の4つの分野を定義し、各分野に対し、人的資本をはじめとするあらゆる経営資源を集中投下していきます。

半導体用フォトレジストや高純度化学薬品を中心とする製品ポートフォリオは各分野の価値創造に今後も寄与するとともに、さらなる研究開発を加速し、イノベーションに資する製品を展開することで、豊かな未来の実現に向けた社会的インパクトの創出に貢献していきます。

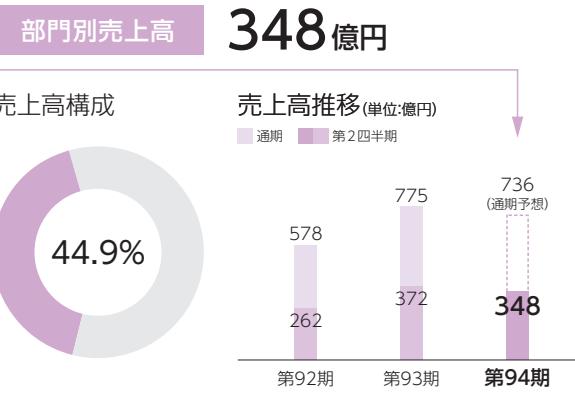


※1 「スマートフォン非・所有者数」「デバイス価格引き下げ効果」をキヤクターとして試算。割賦販売の頭金年収の5%を超える人口を「スマートフォンを購入できない人口」と定義。
 ※2 「DCサーバーの消費電力量」「ムアの法則の継続効果」をキヤクターとして試算。ハイエンドロジック半導体の用途としてデータセンターのみを対象とし、DC以外に設置されたサーバーやラップトップPCを除外。
 ※3 「交通死亡事故数」「ADAS普及率」をキヤクターとして試算。2020年の死亡事故件数をベースとし、交通死亡事故件数が特に多い新興国における2030年までの死亡事故件数増加予想は織り込まず。
 ※4 「風力/太陽光発電およびEV/DCの電力使用量」と「SiC、GaN等による次世代パワー半導体の普及」をキヤクターとして試算。風力、太陽光、データセンター、EV乗用車のみを対象とし、鉄道車両、商用車等は対象に含まず。

エレクトロニクス機能材料



高純度化学薬品



※第92期および第93期の売上高の金額については、セグメント開示の変更を遡って適用した後の金額を記載しております。

売上高は、エレクトロニクス機能材料が前年同期に比べ33億円減収の418億円(前年同期比7.3%減)、高純度化学薬品も前年同期に比べ23億円減収の348億円(同6.3%減)となりました。これは、車載用半導体は底堅く推移したものの、パソコン、スマートフォン等の需要の落ち込んだことが主要因です。

【製品紹介】 g線・i線フォトレジスト

パワー半導体は、省エネ家電や自動車、産業機器、再生可能エネルギーシステムなど幅広い用途にて活用されており、今後さらなる市場規模の拡大が予想されます。小さな電力で演算や記憶を行うCPUやLSIなどの集積回路が電子機器の「頭脳」に例えられる一方で、小さな電力から大きな電力までを供給するパワー半導体は「筋肉」に例えられます。パワー半導体の製造には、高電圧、大電流を効率的に供給するのに適した回路パターンを形成できるg線・i線フォトレジストが求められます。当社グループは世界No.1のシェアを持つg線・i線フォトレジスト*を通じて、パワー半導体市場の成長を支えることで「社会の期待」に応えていきます。



※出典:富士キメラ総研「2023 先端/注目半導体関連市場の現状と将来展望」



パワー半導体には太い回路幅が必要



セグメント開示の変更

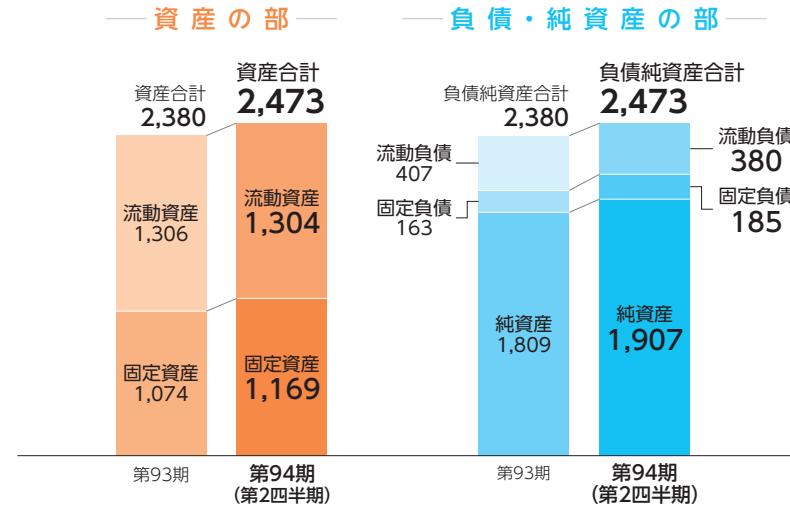
当社グループは、第94期からエレクトロニクス機能材料のセグメント開示を変更しています。

| 第93期(2022年度)までのセグメント | 第94期(2023年度)以降のセグメント |
|---------------------------------------|---|
| ■ 半導体用フォトレジスト (g線・i線・KrF・ArF) | ■ 半導体前工程用フォトレジスト (レガシー材料*1・KrF・先端材料*2) |
| ■ 高密度実装材料 (パッケージ材料・MEMS材料) | ■ 半導体後工程関連材料 (パッケージ材料・MEMS材料・WHS*3関連材料) |
| ■ LCD材料(TFT材料・CF材料) ■ その他(EUV・その他) | ■ ディ스플레이材料・その他 (TFT材料・CF材料・その他) |

※1 レガシー材料:g線・i線フォトレジスト等 ※2 先端材料:ArFフォトレジスト、EUVフォトレジスト等 ※3 WHS:ウエハハンドリングシステムの略で、旧装置事業より移管

連結貸借対照表の概要

(単位:億円)



資産の部

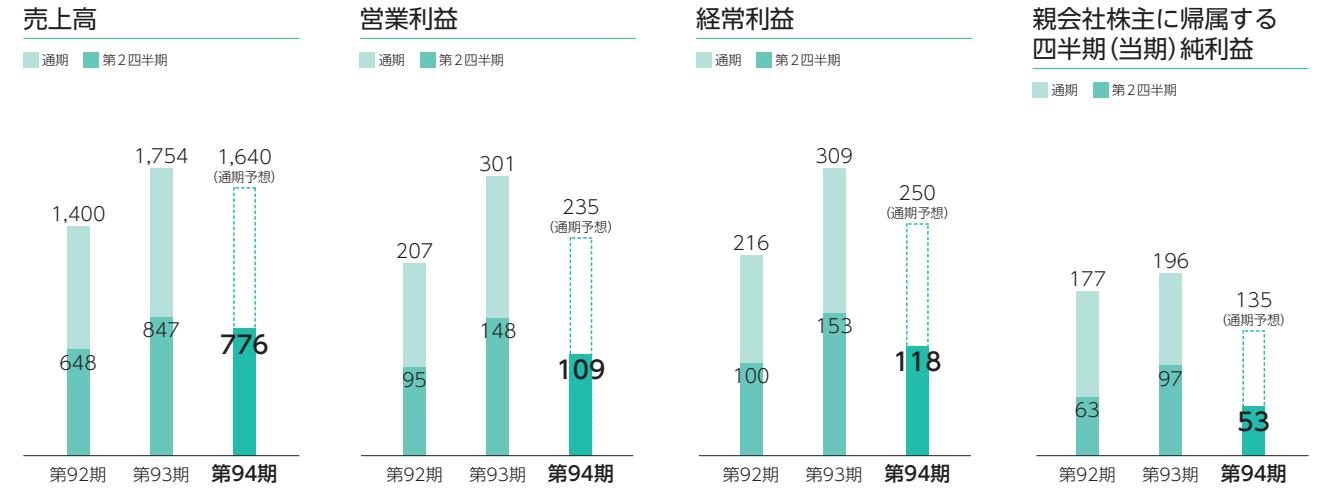
- ・棚卸資産が増加したものの、受取手形及び売掛金が減少したことにより、流動資産が減少。
- ・有形固定資産と投資その他の資産が増加したことにより、固定資産が増加。

負債・純資産の部

- ・未払法人税等の減少により、流動負債が減少。
- ・繰延税金負債の増加により、固定負債が増加。
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益の確保、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定の増加により、純資産が増加。

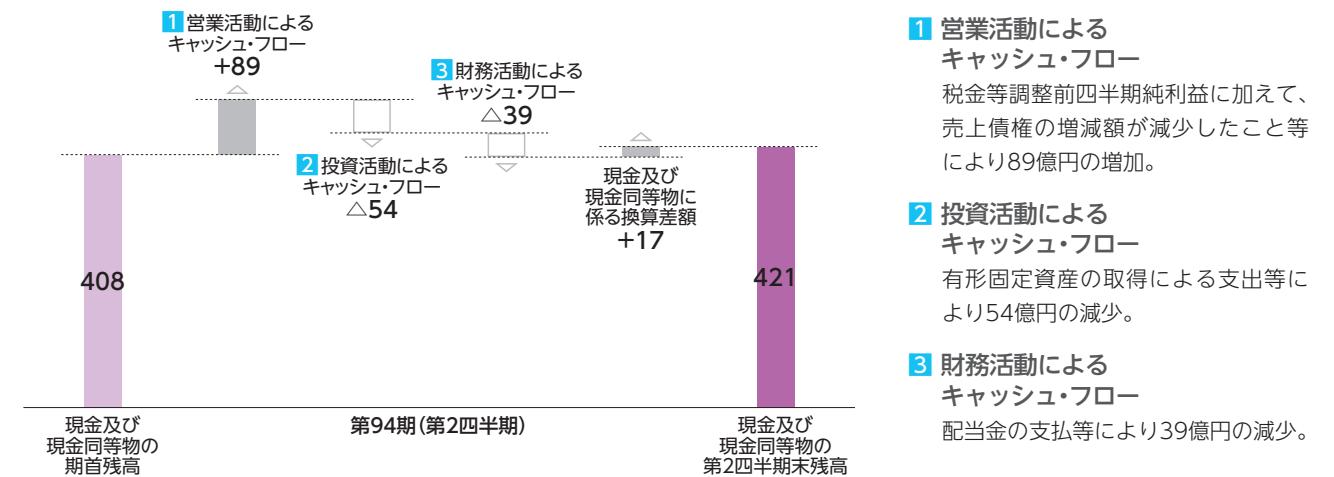
連結損益計算書の概要

(単位:億円)



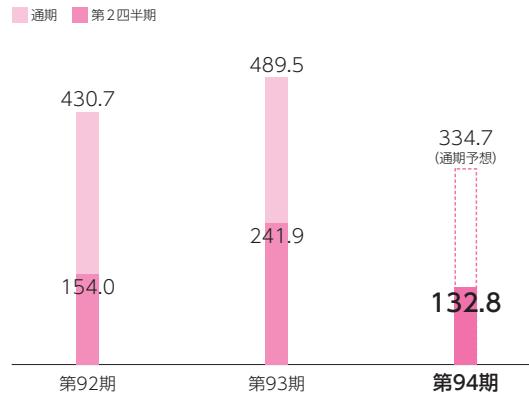
連結キャッシュ・フローの概要

(単位:億円)



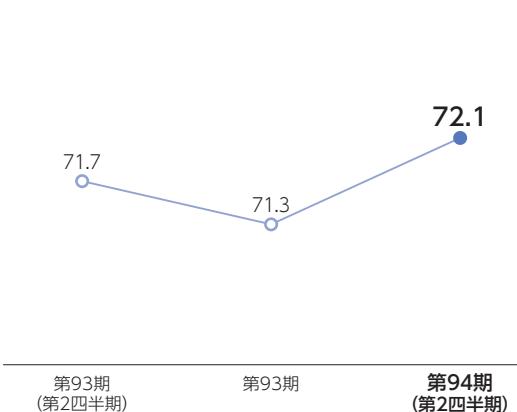
1株当たり当期純利益

(単位:円)



自己資本比率

(単位:%)



TOKのIR活動

個人投資家説明会を開催

当社グループの事業戦略や業績などを株主や投資家の皆様にご理解いただくため、透明性、公平性、継続性を基本とした情報開示を徹底し、積極的なIR活動に取り組んでいます。当上半期は個人投資家の皆様との対話の場として「個人投資家説明会」を東京、大阪、名古屋、京都で開催し199名の皆様にご参加いただきました。下半期は東京、横浜、大阪での開催を予定しています。

「第2回日経統合報告書アワード 準グランプリ」を受賞および、「統合レポート2022」を発行

当社グループに対する理解をより深めていただくことを目的に発行している「統合レポート2021」が、日本経済新聞社主催の「第2回日経統合報告書アワード」において「準グランプリ」を受賞しました。

「統合レポート2021」および、今年8月に発行した最新の「統合レポート2022」は当社ウェブサイトに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

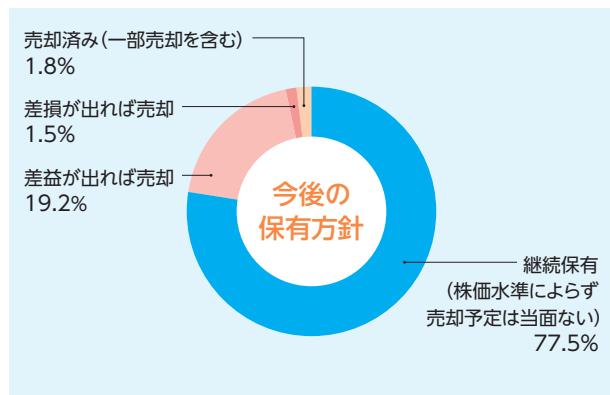
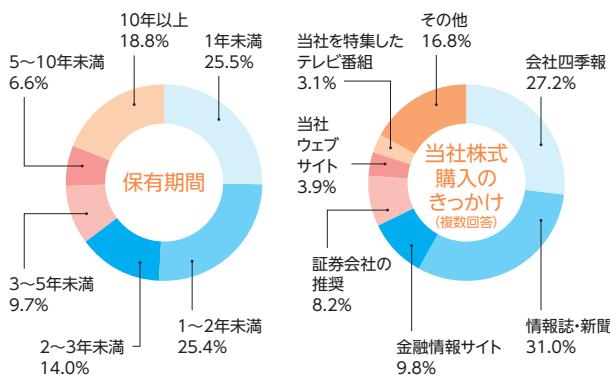


<https://www.tok.co.jp/ir/library/annual>

株主様アンケート 集計結果のご報告

第93期中間報告書に同封したはがきを通じて、株主の皆様にごアンケートを実施しました。多くの株主様よりご回答いただき誠にありがとうございました。集計結果の一部ではございますが、ご報告させていただきます。

実施期間 2022年9月6日～10月6日 返信数 1,056枚



株主の皆様からの貴重なご意見を参考に、わかりやすい報告書の作成やIR活動の充実に努めてまいります。

株式の概況／会社概要

(2023年6月30日現在)

株式の状況

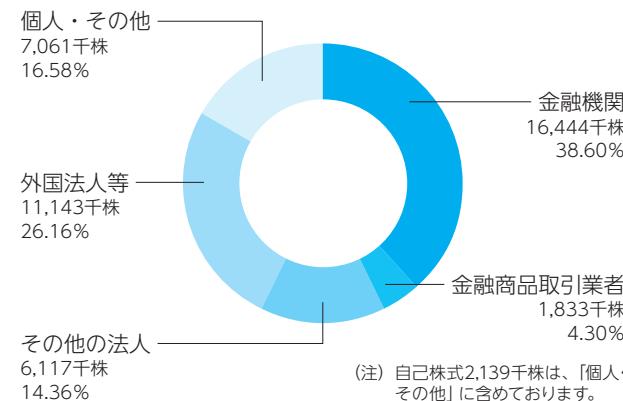
| | |
|----------|------------------------------------|
| 発行可能株式総数 | 197,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 42,600,000株 (自己株式2,139,913株を含む) |
| 株主数 | 10,198名 |

大株主(上位10名)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|------------------------------------|---------|---------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 5,601 | 13.85 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 2,869 | 7.09 |
| 明治安田生命保険相互会社 | 1,826 | 4.51 |
| BNYM AS AGT/CLTS NON TREATY JASDEC | 1,534 | 3.79 |
| 株式会社三菱UFJ銀行 | 1,207 | 2.98 |
| 株式会社横浜銀行 | 1,026 | 2.54 |
| 公益財団法人東京応化科学技術振興財団 | 984 | 2.43 |
| 三菱UFJ信託銀行株式会社 | 953 | 2.36 |
| 三菱UFJキャピタル株式会社 | 860 | 2.13 |
| 東京海上日動火災保険株式会社 | 857 | 2.12 |

(注) 1 当社は、自己株式を2,139千株保有しておりますが、上記大株主から除いております。
2 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式を除いた株式数(40,460,087株)を基準に算出しております。

所有者別株式分布状況



(注) 自己株式2,139千株は、「個人・その他」に含めております。

会社概要

| | |
|-------|--|
| 社名 | 東京応化工業株式会社 TOKYO OHKA KOGYO CO., LTD. |
| 設立 | 1940年10月25日 |
| 資本金 | 14,640,448,000円 |
| 従業員数 | 1,916名(連結) (当社グループから当社グループ外への出向者および嘱託者を除く) |
| 本社所在地 | 〒211-0012 神奈川県川崎市中原区中丸150番地 電話044(435)3000(代表) |

役員

取締役

| | | |
|-------|-------|------|
| 代表取締役 | 取締役社長 | 種市順昭 |
| 取締役 | 取締役 | 佐藤海裕 |
| 取締役 | 取締役 | 鳴海宏浩 |
| 取締役 | 取締役 | 土山本弘 |
| 社外取締役 | 取締役 | 栗本信生 |
| 社外取締役 | 取締役 | 徳竹典子 |
| 社外取締役 | 取締役 | 関口和夫 |
| 社外取締役 | 取締役 | 一柳尚 |
| 社外取締役 | 取締役 | 安藤尚 |

執行役員

| | |
|---------|--|
| ※執行役員社長 | 種市順昭 |
| ※専務執行役員 | 営業本部長兼開発本部長 土井宏介 |
| ※専務執行役員 | TOK尖端材料株式会社 代表理事社長 村上裕一 |
| ※執行役員 | 新事業開発本部長 嶋山浩興 |
| ※執行役員 | 材料事業本部長 高瀬正裕 |
| 執行役員 | 経理財務本部長 高間川司 |
| 執行役員 | 経営企画本部長 大本川 |
| 執行役員 | 総務本部長 本川 |
| 執行役員 | ティーオーケーエンジニアリング株式会社取締役社長 渡邊直樹 |
| 執行役員 | 上海帝奥科電子科技有限公司 董事長兼総経理 塩谷和幸 |
| 執行役員 | トウキョウ・オーカ・コウギョウ・アメリカ・インコーポレーテッド取締役社長 塩谷和幸 |
| 執行役員 | 台湾東應化股份有限公司 董事長兼総経理 澤野敦泰 |
| 執行役員 | TOK尖端材料株式会社 代表理事副社長 大金基 |
| 執行役員 | 開発本部副本部長 大森克 |
| 執行役員 | 営業本部副本部長 辰野直 |

(注) ※印を付した執行役員は、取締役を兼務しています。